

せいじのみかた

タウンニュース

2019.3.22号

『せいじのみかた』VOL.102 県議会本会議

一般質問で論戦！

神奈川県議会議員 飯田満

2月22日の県議会本会議で一般質問がおこなわれ、県政課題について黒岩知事、桐谷教育長、その他局長と論戦を繰り広げました。

PCB廃棄物適正処理
PCB廃棄物を保

よう、県は司令塔となつて、県内のPCB廃棄物の処理を推進して行く。

太陽光2040問題

管する企業等は、保管状況や処分状況を県に届出する必要があります。平成35年までの4年間で、全ての高濃度PCBを適正に処理しなければならぬが、行政には限界が見えている。民間に情報を発信して、協力を得た方が有益ではないか。

〈飯田〉「太陽光パネル」の初期寿命が2040年頃に到来する。「パネルを設置して完了」ではなく、この「太陽光発電事業の2040年問題」に県は責任を持つべきだ。太陽光パネル廃棄問題の責務をどう考えるのか。

〈知事〉太陽光発電の普及を積極的に進めてきた県として、しっかりと対応する責任が県にある。

この問題を遠い将来とは考えず、早い時期から設置者などに周知徹底を図り、廃棄物処理業者に

適切な指導をして行く。



PROFILE

- 川崎市生まれ ●横浜市立瀬谷中学校 ●東海大山形高校
- プリンスホテル ●衆議院議員秘書、横浜市長秘書
- 川崎市議会議員 ●妻・子供3人の5人家族

WEBでも情報発信中!

公式サイト

飯田満

検索



Facebook

飯田満

検索



Instagram

iidaman0509

検索